

— さんべに贈る — この日限りのスペシャルステージ

2017年、世界遺産登録10周年記念に創作した、世界初の神楽とオペラの融合作品「オペラ石見銀山」は、7月の初演(2公演)以来、同年秋には東京新国立劇場、2019年には東京文化会館にて再演を果たし、大きな反響を呼び、銀山の歴史をオペラを通して沢山の観客に届けていただきました。

この度は、47年振りに地元三瓶で開催される、全国植樹祭とザ・レジェンドのメンバー柿迫秀氏の国歌斉唱をお祝いし、オペラ石見銀山オールキャストでお届けするコンサートです。

3部は「オペラ石見銀山」を、歌とピアノで綴ります。

この作品は誰にも当てはまる「心の闇」が非常に美しく描かれています。それらを登場人物が音楽に息を吹き込み表現し「心の闇」を一層色濃く表します。

7名のソリストと3名のピアニストで奏でる歌物語は、きっと一日限りの夢物語を見せてくれることでしょう。

オペラユニット ザ・レジェンド

■ 柿迫 秀(テノール) 鳥根県大田市出身。

国立音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽専攻オペラコース修了。

W.A.モーツァルト作曲、歌劇「魔笛」タミーノ役でオペラデビュー。1997年、ヴェルヴェデーレ国際声楽コンクール入賞。1999年、フランス・モンテネブルにて行われたフランカ・マッティウッチ夏期セミナーに参加。デュプロマ取得。1994年から2000年まで、イタリア・ミラノに留学し、イタリア国内、およびフランスにて数多くのコンサートに出演。好評を博す。G.ブッチーニ、G.ヴェルディ、G.ドニゼッティなどのレパートリーを持つ、リリコテノールとして日本国内でも様々なオペラやコンサートソリストとして活躍。

生まれながらの生粋のテノールで、その柔らかな声でレジェンドハーモニーを鮮やかに彩る。

■ 志村 穂一(テノール) 山梨県南アルプス市出身。

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラストゥーディオ修了。

三木稔作曲「うたよみざら」上の役でオペラデビュー。文化庁主催の公演で日本各地を回る。歌劇「愛の妙薬」ネモリーノ役をはじめ、「カルメン」「椿姫」「マクベス」「トスカ」「道化師」「こもり」「地獄のオルフェウス」など、数多くの舞台に出演。

明るく輝かしい声の特徴で、その声域の広さからレジェンドのレパートリーの中では中心的なメロディーからハーモニーパートまで器用にこなす。歌のみならず、その躍動的なステージパフォーマンスは見る人を魅了する。

■ 吉田 知明(テノール) 愛知県名古屋出身。

国立音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽専攻オペラコース修了。

イタリア・ミラノ留学。W.A.モーツァルト作曲、歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド役でオペラデビュー。白井晃氏演出の音楽劇「ファウスト」、日生劇場オペラ「アラジンと魔法のランプ」(日本初演)、新国立劇場「セルセ」などの舞台に出演。名古屋能楽堂で上演された戦国オペラ「本能寺が燃える」では主演の明智光秀役を好演。また、新作ミュージカル「君のために散る」でも主演のタケシを熱演。好評を博す。

レジェンドのリーダーとして常にメンバーの中心で活動し、レジェンドのオリジナル曲を多数書いている。2017年初演のオペラ「石見銀山」では原作/脚本を担当。作家・作詞家として、またコンサートを支えるMCとしてマルチに活躍。

■ 内田 智一(バリトン) 北海道札幌市出身。

国立音楽大学声楽科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。

歌劇「ドン・ジョバンニ」タイトルロール、歌劇「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵役、歌劇「ラ・ボエーム」マルチェッロ役、シヨナル役など、様々なオペラに出演。2003年より、イタリア・ミラノに留学。イタリア留学中はミラノ市を中心に活動し、歌劇「道化師」シルヴィオ役、歌劇「ラ・ボエーム」、歌劇「ジャンニ・スキッキ」など、数々のオペラに出演した。また、イタリア各地で行われたコンクールでは数度の入賞を果たす。

芯のある、明るい声の特徴で、レジェンドの中では難解なハーモニーパートを任せられることが多い。

■ 菅原 浩史(バスバリトン) 岩手県一関市出身。

国立音楽大学声楽科主席卒業。同大学院声楽専攻オペラコース修了。

W.A.モーツァルト作曲、歌劇「フィガロの結婚」タイトルロールでオペラデビュー。以後、歌劇「カルメン」エスカミーリョ役、歌劇「イドメネオ」声役、歌劇「ゼッキンゲンのトランペット吹き(日本初演)」学長役、ヴィルデンシュタイン伯爵役、歌劇「ルイーザ・ミラー」ヴルム役、歌劇「リゴレット」スバラフチーレ役など、数多くの舞台に出演。またベートーベン作曲「交響曲第九番」のバリトンソロなど、コンサートソリストとしても定評がある。

レジェンドのレパートリーの中で歌い出しのソロを歌うことが多い。またコーラスハーモニーでは一番下のバスのパートを支えている。音楽に対しては非常にストイックで、発声の研究をすることが趣味。

■ 西尾 周祐(ピアノ) 兵庫県西宮市出身。

国立音楽大学ピアノ科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了(鍵盤楽器ソリストコース)。最優秀にて大学院奨学金受賞。

2007年、ASIA International Piano Academy & Festival with Competition(韓国)にて金賞受賞。第16回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール最高位。第12回長江杯国際音楽コンクール第2位。2012年、ヨーロッパ国際マスタークラス(ドイツ)修了。2015年よりレジェンドの専属ピアニストとして、コンサートやディナーショーに帯同。またBS-TBS「日本名曲アルバム」にレギュラー出演している。

繊細かつダイナミックな表現で観客を魅了するピアニストで、誠実に構築していく音楽性はメンバーからの信頼も厚い。

ピアノデュオ 鍵盤男子

大井健(ピアニスト)と中村匡宏(作曲家)の異色のピアノデュオ。

オペラユニット THE LEGEND の専属ピアニストを経て、2013年から本格的に活動を開始。ピアノ連弾によるトラヴィンスキーの「春の祭典」のパフォーマンスは、フランスを代表するピアニスト、フィリップ・ジュジャーノ氏に激賞される。2017年、ワーナーミュージック・ジャパンより『The future of piano』でCDメジャーデビュー。ジャンルに囚われず、常に新たなピアノ表現の可能性を追求する独自の音楽性と、そのプレイスタイルは、クラシックファンだけでなく、子供から大人まで幅広いリスナーに支持を得ている。また、超絶技巧を駆使した高速連弾と、観客と一体となるリズムカルなコンサート演出が人気を呼び、メディアや様々な音楽フェスなどのオファーも多く、毎年新しいコンセプトで全国コンサートツアーを開催している。

■ 大井 健 (Takeshi Oi)

幼少期をドイツとイギリスで過ごし、帰国後、国立音楽大学付属高等学校ピアノ専攻を経て、国立音楽大学音楽学部器楽ピアノ専攻を卒業。卒業と同時に、日本初の男性オペラユニット「ザ・レジェンド」の専属ピアニストとして、壮大なオーケストレーションをピアノ一つで表現するという類まれな才能により全国にファンを広げ、2015年ファーストアルバム『Piano Love』をキングレコードよりリリース。そのルックスと甘美なメロディが話題となり、ソニーモバイルのCM「だから私は、Xperia」に抜擢される。2016年にはセカンドアルバム『Piano Lovell』をリリースし、ビルボードチャートクラシック部門で1位を記録。2018年には舞台「海の上のピアニスト」において天才ピアニスト・ノヴェチェントを演じ話題となり、2019年にも再演。次世代の日本ピアノ音楽の牽引者として大きく期待されている。

■ 中村 匡宏 (Kunihiro Nakamura)

作曲家・音楽博士。国立音楽大学音楽学部作曲学科に学び首席で卒業。その後、同大学大学院へ進み首席で卒業し、博士号を取得。同時にウィーン国立音楽大学大学院に留学し、同大学院作曲科を終了。また学業の傍ら、ピアニストの大井健と共に、オペラユニット「ザ・レジェンド」の専属ピアニストとしても活躍。作曲家、ピアニスト、アレンジャー、指揮者、音楽監督など一人で何役もこなす様々なアーティストのレコーディングや舞台に参加している。2017年には世界遺産登録10周年記念事業オペラ「石見銀山」の作曲、音楽監督、演出、指揮をたったひとりで担当。2019年の舞台「海の上のピアニスト」では作曲と音楽監督を兼務するなど、音楽博士の知識を活かし、あらゆる音楽ジャンルでマルチに活躍できる唯一無二な才能の持ち主。

■ 坂井田 真実子(ソプラノ)

国立音楽大学および同大学院修了。二期会オペラ研究所マスタークラス修了。修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。ロータリー財団奨学生として伊・ポーロニャへ留学。平成25年度文化庁新進芸術家在外派遣員としてウィーンへ派遣。ソレイユ音楽コンクール2位及び優秀賞受賞。伊・セギツィ国際ソリストコンクール聴衆賞(2位)受賞。日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団をはじめ、主要オーケストラと共演。大野和士、大植英次、ウルフ・シルマー等の指揮者とも共演する。2010年東京二期会「メリー・ウィドー」ヴァランシェンヌ役でデビュー、華麗な演唱と劇中のダンスシーンの舞台姿でも好評を博す。同公演「こもり」ではアデーレ役を務める。イタリア、ドイツ、オーストリア、中国、台湾等、国内外で演奏会やオラトリオに数多く出演。2016年国指定難病を患い、一時は歩行不可能と宣言されるも、リハビリを経て病と共存しつつ舞台上に復活している。二期会会員。

■ 松浦 麗(メソソプラノ)

大阪教育大学卒。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。第6回フランス音楽コンクール優秀賞。第8回藤沢オペラコンクール第3位。藤原歌劇団「椿姫」のアンニーナ役でオペラデビュー。「ランスへの旅」マッドレーナ、「蝶々夫人」スズキ、「どろぼうかささぎ」ピッポ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「カルメン」カルメン、「オリー伯爵」イソリエ、「ノルマ」クロティルデなどで出演。新国立劇場では「魔笛」童子III、「サロメ」奴隷、「ワルキューレ」ジークルーネに出演。演奏会ではロッシーニ「スターバト・マーテル」(東京フィルハーモニー交響楽団)、ベートーベン「第九」(読売日本交響楽団、群馬交響楽団他)、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、ヴェルディ「レクイエム」に出演している。藤原歌劇団団員。